

2009 環境報告書

Environmental Report 2009



豊臣機工株式会社

会社概要

商 号 : 豊臣機工株式会社

創 立 : 1960年 9月 (昭和35年)

資 本 金 : 481,157,500 円 (2002年 4月現在)

従業員数 : 1,449 人 (2009年3月) (協力社員含む)

事業内容 : 自動車用塑性加工部品の製造及びプレス金型の設計・製作

営業状況

売 上 高 : 435 億円 (2008年度)

ごあいさつ

当社の事業内容は、自動車ボデー関係を主体とした量産部品と旧型モデルの補給外板部品(フェンダー・ドア・クォーターなど)の生産を行っています。またプレス金型の設計・製作や試作部品のZAS型プレス・板金など、多岐に渡って事業を展開しております。

『環境』への取り組みは、地球温暖化・増大する廃棄物などの環境問題が社会的な課題となっている昨今、当社自らの生産活動に伴う資源やエネルギーを節約することによって、環境への負荷を軽減することが必要だと決意し、環境方針・スロガンなどを決め、第三次環境取り組みプランを掲げ、全員参加による環境保全活動の継続的改善に取り組んでいます。



豊臣機工株式会社 取締役社長

星 宏一 (Koichi Hoshi)

工場一覧

本社工場



所在地 愛知県安城市今本町
東向山7番地

敷地面積 : 222,800 m²

従業員数 : 1,303 人(協力社員含む)

額田工場



所在地 愛知県岡崎市榎山町
字広表23番地

敷地面積 : 47,000 m²

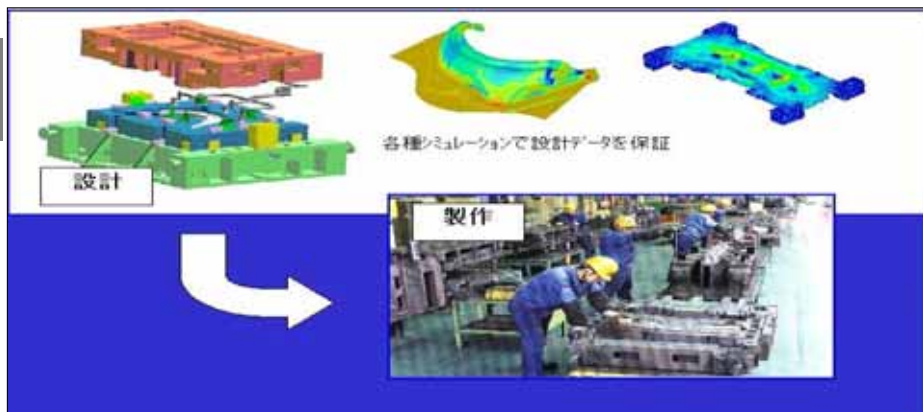
従業員数 : 146 人(協力社員含む)

主な製品

自動車用補給パーツ
自動車用量産部品



自動車用金型
設計・製作



環境方針

当社では、『環境方針』を定め、並びに社内標語募集を行った『スロ - ガン』を掲げて、環境保全活動の維持・継続的改善に取り組んでいます。

* 2001年5月にISO 14001 国際規格の認証を取得いたしました。

環境保全活動スローガン

明日の地球を考える
みんなが主役の環境活動

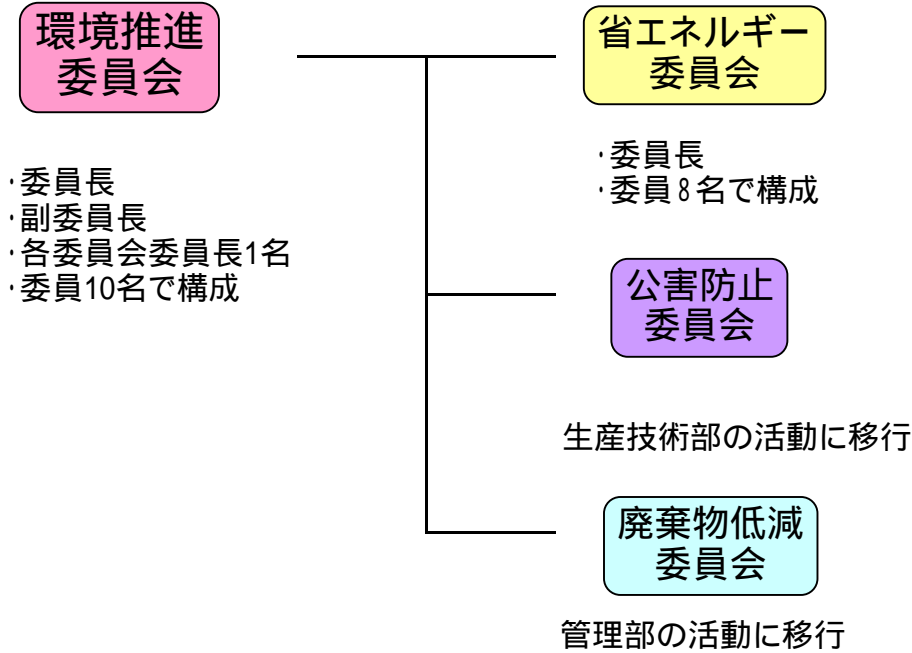
環境方針

1. 国、地方公共団体等の環境に関する法規及びその他の要求事項を遵守し、汚染の予防に努めます。
2. 生産活動により環境へ及ぼす影響を予測、評価して環境保全のための目的、目標を設定、達成するための活動を推進し、状況により目的、目標の見直しを実施します。
3. 会社が行う事業活動が、環境に影響を与える以下の項目について活動に取り組みます。
地球温暖化防止のため、工場・オフィスの使用エネルギーの節減を推進します。
資源の有効活用のため、排出物の削減と再資源化を推進します。
環境汚染の防止を図るため、化学物質等の適切な管理に努めます。
4. 地域社会との環境調和を図ると共に、環境方針の定期的な見直しを実施して継続的改善を行います。
5. 環境方針の実効をあげるため、計画的に教育・啓蒙活動を行い全従業員への周知徹底を図ります。

取締役社長

星 宏 一

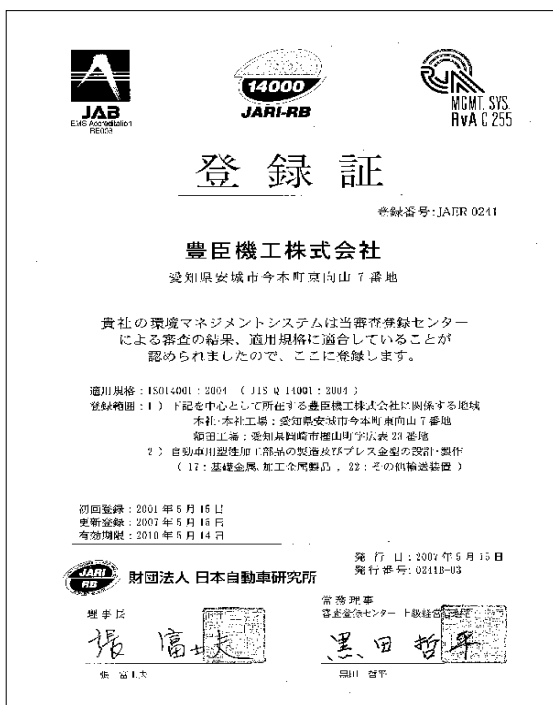
推進体制



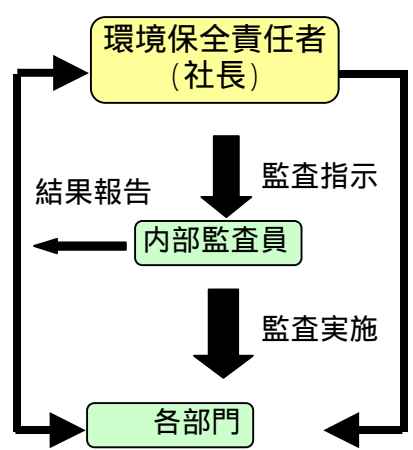
環境マネジメントシステムと ISO14001への対応

ISO14001 国際規格の認証取得状況

当社は、1999年11月より、環境マネジメントシステム構築に取り組んできました
 2001年5月にISO14001国際規格の認証を取得
 2004年5月に認証登録を更新
 2007年5月に認証登録を更新
 (登録証)



環境マネジメントシステム監査 (環境内部監査のしくみ)



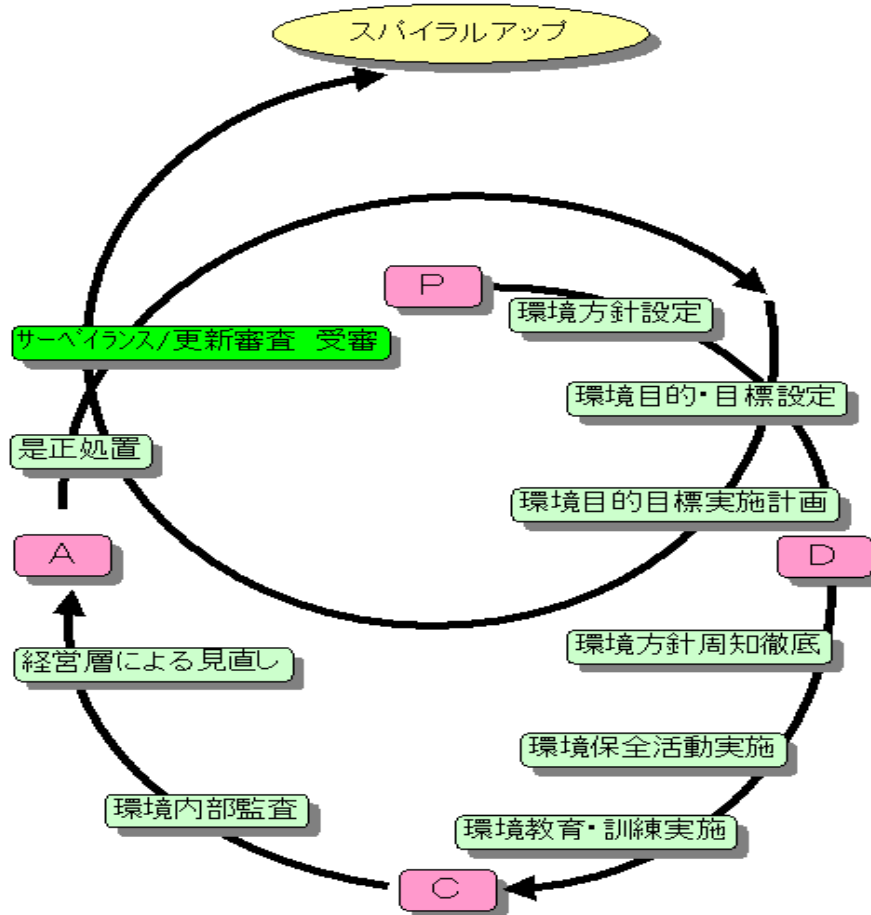
環境マネジメント

環境保全取り組み

第三次環境取り組みプラン(2007年度～2010年度)

環境取り組みプランの制定は、環境に関する取り組みを全社的な体系化を図ることで、着実に反映していくために制定しました。第三次環境取り組みプランは、2007年度～2010年度までの環境対応を推進するためのものです。



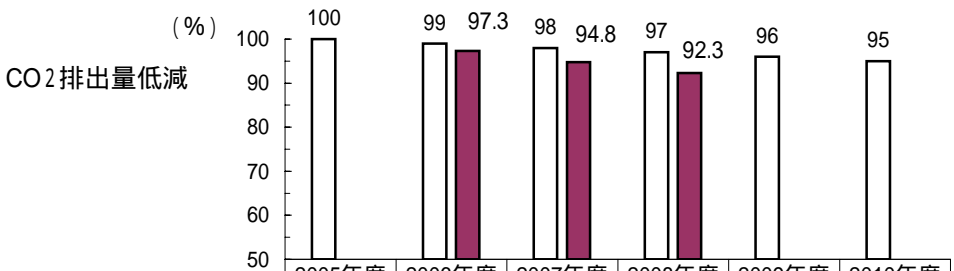
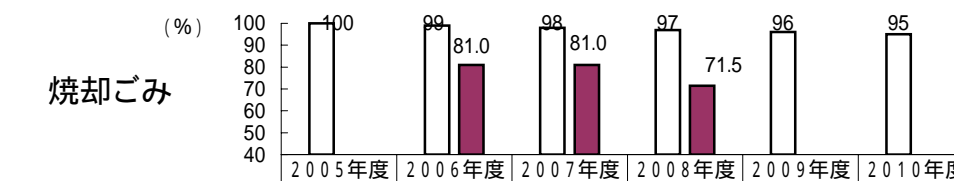
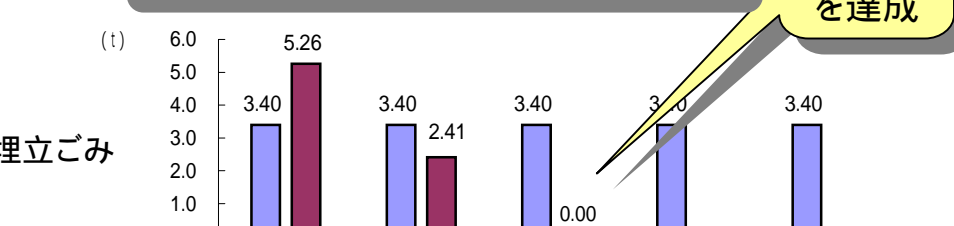
ISO14001国際規格の認証取得



環境マネジメント

環境保全取り組み

下記の表は、2008年度(2009年4月末)の活動状況をまとめたものです。

環境目的・目標の設定 及び達成状況																																																																																	
<p>温暖化防止(委員会活動) エネルギーを効率的に使用し 電力、燃料の低減を行い 地球温暖化防止に寄与する</p> <p>[主な取り組み] ・ CO2レーザー機 冷凍機から循環水化 ・ 天井照明電気量の見える化 ・ 溶接機冷却循環水の インバータ化、見える化 ・ 太陽光発電の導入</p> <p>太陽光発電システム</p>  	<p>環境目的 : CO₂排出量を 10年度までに 売上げ高当り 05年度実績比 5.0%減 改善効果額 05年度実績比 5.0%相当額</p> <p>環境目標 : 売上高当り ; 43.0 t-CO₂ ('05年度実績 44.3 t-CO₂の 3%減) 改善効果額 ; 177t-CO₂以上</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; background-color: #e0ffe0;"> <p>08年度実績 CO₂排出量 40.9 t-CO₂/億円 05年比 低減達成率 92.3%を達成</p> </div> <p>CO₂排出量低減</p>  <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>(%)</td> <td>100</td> <td>99</td> <td>97.3</td> <td>98</td> <td>94.8</td> <td>97</td> <td>92.3</td> <td>96</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2005年度</td> <td>2006年度</td> <td>2007年度</td> <td>2008年度</td> <td>2009年度</td> <td>2010年度</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>□ 低減達成率目標値 (%)</td> <td>100</td> <td>99</td> <td>98</td> <td>97</td> <td>96</td> <td>95</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>■ 低減達成率 (%)</td> <td>0</td> <td>97.3</td> <td>94.8</td> <td>92.3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	(%)	100	99	97.3	98	94.8	97	92.3	96	95		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度				□ 低減達成率目標値 (%)	100	99	98	97	96	95				■ 低減達成率 (%)	0	97.3	94.8	92.3																																													
	(%)	100	99	97.3	98	94.8	97	92.3	96	95																																																																							
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度																																																																										
	□ 低減達成率目標値 (%)	100	99	98	97	96	95																																																																										
■ 低減達成率 (%)	0	97.3	94.8	92.3																																																																													
<p>廃棄物の低減(管理部活動)</p> <p>紙類、プラスチック類を中心に 再資源化を進め、廃棄量を低減し、資源保護に寄与する</p> <p>[主な取り組み] ・ 廃プラB(ビニール類)の 高温焼却化 ・ 陶磁器、ガラス類の破碎 選別によるリサイクル化 ・ 塗装スラッジが、セメント 材料としてリサイクル化</p>	<p>環境目的 ・ 焼却廃棄物を 10年度までに 売上げ高当り 05年度実績比 5.0 %減 ・ 埋立廃棄物ゼロエミッションを維持継続 '01年度比 99 %減</p> <p>環境目標 焼却廃棄物 売上高当り 205.4kg/億円以下 ('05年度実績 287.3kg/億円の3%)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; background-color: #e0ffe0;"> <p>08年度実績 焼却ごみ発生量 205.4 kg/億円 05年比 低減達成率 71.5%を達成</p> </div> <p>焼却ごみ</p>  <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>(%)</td> <td>100</td> <td>99</td> <td>81.0</td> <td>98</td> <td>81.0</td> <td>97</td> <td>71.5</td> <td>96</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2005年度</td> <td>2006年度</td> <td>2007年度</td> <td>2008年度</td> <td>2009年度</td> <td>2010年度</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>□ 焼却ごみ 低減達成率目標値 (%)</td> <td>100</td> <td>99</td> <td>98</td> <td>97</td> <td>96</td> <td>95</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>■ 焼却ごみ 低減達成率 (%)</td> <td></td> <td>81.0</td> <td>81.0</td> <td>71.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>埋立廃棄物 ゼロエミッションの維持継続 = 総量 3.4t以下 ('01年度実績 341t)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; background-color: #e0ffe0;"> <p>08年度実績 埋立ごみ発生量 0 kg ゼロエミッション継続達成 ('01年比)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; background-color: #ffffe0;"> <p>埋立ごみ 廃棄0を達成</p> </div> <p>埋立ごみ</p>  <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>(t)</td> <td>6.0</td> <td>5.0</td> <td>4.0</td> <td>3.0</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3.40</td> <td>5.26</td> <td>3.40</td> <td>2.41</td> <td>3.40</td> <td>0.00</td> <td>3.40</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2006年度</td> <td>2007年度</td> <td>2008年度</td> <td>2009年度</td> <td>2010年度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>■ 埋立ごみ 目標値 (t)</td> <td>3.40</td> <td>3.40</td> <td>3.40</td> <td>3.40</td> <td>3.40</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>■ 埋立ごみ 実績値 (t)</td> <td>5.26</td> <td>2.41</td> <td>0.00</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	(%)	100	99	81.0	98	81.0	97	71.5	96	95		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度				□ 焼却ごみ 低減達成率目標値 (%)	100	99	98	97	96	95				■ 焼却ごみ 低減達成率 (%)		81.0	81.0	71.5						(t)	6.0	5.0	4.0	3.0	2.0	1.0	0.0		3.40	5.26	3.40	2.41	3.40	0.00	3.40		2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度			■ 埋立ごみ 目標値 (t)	3.40	3.40	3.40	3.40	3.40			■ 埋立ごみ 実績値 (t)	5.26	2.41	0.00				
	(%)	100	99	81.0	98	81.0	97	71.5	96	95																																																																							
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度																																																																										
	□ 焼却ごみ 低減達成率目標値 (%)	100	99	98	97	96	95																																																																										
■ 焼却ごみ 低減達成率 (%)		81.0	81.0	71.5																																																																													
(t)	6.0	5.0	4.0	3.0	2.0	1.0	0.0																																																																										
	3.40	5.26	3.40	2.41	3.40	0.00	3.40																																																																										
	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度																																																																												
■ 埋立ごみ 目標値 (t)	3.40	3.40	3.40	3.40	3.40																																																																												
■ 埋立ごみ 実績値 (t)	5.26	2.41	0.00																																																																														

第三次環境取り組みプラン(2007～2010年度)及び2008年度活動実績

環境目的・目標の設定 及び 達成状況

公害防止(生産技術部活動)

主な取り組み

・水質汚濁法

法規制値対象測定項目

46項目測定

・PRTR法

ニッケル、トルエン、キシレン、
亜鉛、有機スズ、ビスフェノールA、エチルベンゼン

の7点の排出ルートの記事

環境 目的

法規制値、自主基準値 未達成件数 0件
苦情発生件数 0件

2008年度 環境 目標

法規制値 自主基準値 未達成件数 0件

実施内容 規制値の順守確認とフォロー

【結果 未達成件数 0件達成】

苦情 発生件数 3件

3ヶ月以内に回答の実施完了

環境に関する法的、及びその他の要求事項データは
最終ページに記載

補給金型再資源活用

2004年度以降、「補給金型廃却リサイクルの促進による資源枯渇防止」は生産管理部の
定常活動として継続しています

(参考)

年度実績 2004年～2008年

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
金型再利用 実績(t)	10,040	8,525	8,078	6,354	4,708

環境教育・訓練

緊急事態訓練

緊急事態発生可能性施設について、14施設を特定し、年間計画書に織り込んで緊急事態対応訓練を実施しています。

塗装工程 緊急事態対応訓練実施風景



周知徹底活動

環境教育実施風景



社会貢献活動

コミュニケーション

毎年8月に、【サマーフェスティバル】を当社駐車場で実施し、近隣住民の方々との情報交換の場として、開催していましたが、本年は台風の関係で中止致しました。

地域社会

毎年、定期的に本社工場及び額田工場周辺のゴミ拾いを、実施しております

工場周辺のゴミ拾い風景

本社工場



額田工場



環境データ (2008年度)

大気(大気汚染防止法、県条例)

	項目	設備	法規制	県条例	安城市協定	自主基準値	実績
本 社 工 場	ばいじん	ガス ボイラー	————	0.30 g/m ³ N以下	0.2	0.16	0.0001 未満
	燃料硫黄分		————	————	0.8 %以下	0.64	0%

NDは検出限界以下を示します ——— 表示は規制値なし SO_x:硫黄酸化物

水質 本社工場 (水質汚濁防止法、県条例等)

	項目	設備	法規制	県条例	安城市協定	自主基準値	実績		
							最小値	最大値	平均値
本 社 工 場	PH	酸又はアルカリによる表面処理施設 し尿浄化槽	5.8 ~ 8.6	————	6.0 ~ 8.5	6.2 ~ 8.2	6.7	7.3	7
	BOD		160 mg/l以下	25	20	16	1.6	7.8	4.4
	COD		22 kg/日	————	————	19	7.4	16	10
	SS		200 mg/l以下	30	20	16	1	2	1.4
	油分		5 mg/l以下	————	4		0.5	1.8	1
	大腸菌群数		3000 個/cm ³ 以下	————	1000	800	30	30	30
	窒素汚濁負荷量		31 kg/日以下	————	————	24.8	10.2	13.6	12.1
	リン汚濁負荷量		3.9 kg/日以下	————	————	3.1	1.2	2.9	2.1
	銅		3.0 mg/l以下	1	0.2	0.16	< 0.01	1回/年	
	亜鉛		2 mg/l以下	————	2	1.6	< 0.08		
	マンガン		10 mg/l以下	5	2	1.6	< 0.1		

NDは検出限界以下を示します

- 表示は規制値なし

記載のない以下の項目は全て検出限界以下

PCB、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1・2-ジクロロエタン、1・1-ジクロロエチレン、シス-1・2-ジクロロエチレン、1・1・1トリクロロエタン、1・1・2トリクロロエタン、1・3ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン及びその化合物

PH;水素イオン濃度 BOD;生物化学的酸素要求量 SS;水中の懸濁物質濃度

額田工場水質データについては次ページ記載

環境データ (2008年度)

水質 額田工場 (水質汚濁防止法、県条例等)

	項目	設備	法規制	県条例 (境川水域)	岡崎市協定	実績	
額 田 工 場	PH	・ 特定施設なし 法及び県条例の規制対象外			5.8 ~ 8.6	6.8	1 回/年
	BOD				20	1.7	1 回/月
	COD						
	SS				20	4.0	1 回/年
	大腸菌群数				300個/cm ³ 以下	30以下	1 回/月
	溶存酸素量						
	窒素含有量						
	リン含有量						
	銅				0.5 mg/l 以下	0.01未満	1回/6年
	亜鉛				1.0 mg/l 以下	0.03	
	マンガン				3.0 mg/l 以下	0.8	
	水温						

PH;水素イオン濃度 BOD;生物化学的酸素要求量 SS;水中の懸濁物質濃度

PRTR法対象物質

1999年7月に制定された「特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律」

ニッケル (塗装前処理液)、ベンゼン (ガソリン)、亜鉛の水溶性化合物 (塗装前処理液)
マンガン及びその化合物 (塗装前処理液)、ヒドラジン (塗料冷却装置)
エチルベンゼン (ガソリン)、トルエン (ガソリン・シーラー・床用塗料)
キシレン (ガソリン・灯油・ボージンコート)、フタル酸-2-エチルヘキシン (シーラー)

2008年度

主なPRTR法対象物質使用量

